

特集 | <仏教とSDGs>
現代社会における仏教の平等性とは
～LGBTQの視点から考える～



花まつり

ポスター・絵はがき 頒布・配布開始

花まつりデザイン応募作品から作成いたしました!!

全日本仏教会では「花まつり」の社会宣揚を推進すべく花まつりポスター・絵はがきを頒布・配布しています。2020年に第4回を迎えた花まつりデザイン公募も仏教行事「花まつり」を題材に自由に描いていただきました。国内外から141点の応募をいただき、その中から大賞に選ばれた作品でポスターと絵はがきを作成いたしました。地域や寺院で開催される「花まつり」や春のイベント告知に、新春のご挨拶や感謝の気持ちを伝えるツールとしてご活用いただくと幸いです。皆さまからのご注文、お待ちしております。また、少数でもお気軽にご注文ください。



ポスター大賞「やすらぎの地」



「釋迦誕生佛」金剛峯寺蔵

- ◆ポスター:1枚50円
(※別途、送料が必要です)
- ◆サイズ:A2



「祝福を」



「花やかなおしゃか様のたんじょう日」



「安らぎの地」

絵はがき大賞(2作品)とポスター大賞作品

- ◆絵はがき(3枚1組):無料
(※別途、送料が必要です)

在庫に限りがありますのでお早めの申込をお願いします。

皆さまの花まつり・春のイベントを紹介します!

本会Webサイトでは全国の「花まつり」や春のイベントを紹介したく、開催情報をお待ちしております。一人でも多くの方に「花まつり」を知っていただき、お釈迦さまのご誕生を皆さんでお祝いいたしましょう。

【お申し込み・お問い合わせ】

広報文化部

TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

E-mail:kouho@jbf.ne.jp

※申込用紙は本会webサイトよりダウンロードいただけます。(http://www.jbf.ne.jp/)



新年のご挨拶 3

大谷 光淳 / 公益財団法人全日本仏教会会長
戸松 義晴 / 公益財団法人全日本仏教会理事

特集

〈仏教と SDGs〉 4

現代社会における仏教の平等性とは
~LGBTQ の視点から考える~

【提言】 杉山文野 / 西村宏堂 / 川上全龍

新連載

自死とグリーフケアを考える〈第1回〉 12

尾角光美 / 一般社団法人リヴオン代表

本会からの報告 16

- ・第4回花まつりデザイン大賞発表
- ・各種審議会・委員会
- ・事務総局名簿
- ・「救援基金」寄附者一覧
- ・「賛助会員」新規入会者一覧

年賀交換 18

法話 ぶっぼうそう

蓮華の心 30

株橋 隆真 / 法華宗 (本門流) ・興隆学林専門学校教授

宗教法人運営のための法律入門

仮代表役員・仮責任役員② 31

表紙絵



2021年は巻き返そう、燃え上がろう、復活を、という願いを込めて朱雀にしました。虹の輪は、輪=和(平和)=環と、LGBTQの多様性を表しています。

すいいろ

霊獣、神仏、妖怪、動物の作画が得意なイラストレーター。昨今は神社仏閣の授与品イラストを手掛ける。歴史やバックグラウンドを重んじながら表現する。HP: <https://www.suiiro.com>



新年のご挨拶

公益財団法人全日本仏教会会長 大谷 光淳



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

世界規模での新型コロナウイルス感染症の拡大から約一年が経ちますが、わが国でも、今なお終息の兆しが見えないという極めて厳しい状況が続いています。さらに、昨年は「令和二年七月豪雨」などの大規模な自然災害も発生し、特に熊本県を中心に甚大な被害がもたらされました。ここに感染症、また災害によって犠牲となりましたすべての方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、現在、感染症に罹患されている皆様、ならびに被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。そして、感染リスクの高い中で懸命に治療、対策にあたられている医療従事者の方々をはじめ、ライフラインの維持に努められている皆様に深く敬意と感謝を表します。

さて、コロナ禍の社会であらためて重要性を感じますのは、すべての物事は原因や条件が互いに関わりあつて存在していて、そこには固定した独立不変の実体はないという仏教の本質である「縁起」の思想です。社会全体に不安や閉塞感がひろがり、深刻な悩みや苦しみを抱えるなかで、すべての人は大切ないのちのつながりの中で生きていくことを多くの人が実感しておられるのではないのでしょうか。

本会が昨年実施した「仏教に関する実態把握調査」では、コロナ禍において寺院、僧侶に求められる役割として、「不安な人たちに寄り添う」ことが最も強く期待されています。このような時代であるからこそ、仏教が人々の心の支え、依りどころとなるよう、その真髓を伝え、またSDGs(持続可能な開発目標)の諸課題にも積極的に取り組むなど、すべての人々が心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、共に努めてまいりましょう。

公益財団法人全日本仏教会理事長 戸松 義晴



明けましておめでとうございます。

昨年(2020)の春より、新型コロナウイルス感染症が日本ばかりでなく、地球規模で発症して、多くの方が感染しお亡くなりになり、今なお終息の兆しが見えませんが、また日本においては「令和二年七月豪雨」など自然災害が続発し、多くの尊い命が失われました。お亡くなりになられた方々のご冥福を祈るとともに、被害を受けられた方々の一日も早い回復と日常生活への復帰を祈念しております。

このコロナ禍の中にあつて、仏教界もいのちの尊厳の視点から感染防止に最大限協力し、大規模な行事および法要等は自粛してまいりました。これによつて八割を超える寺院は経済的な影響を受けましたが、なによりも、寺院にとつて最も大切な法要や年中行事の中止や延期が相次ぎ、私たちが大切にしてきた価値観が途切れてしまう危機的状況に直面しています。

一方で社会には、仕事を失つたり収入が激減して、不安や孤独を感じている人が大勢います。実際に夏以降、「コロナうつ」「自死」といった言葉が目立つようになっています。七月に本会が実施したアンケート調査「新型コロナウイルス感染症が仏教寺院に与える影響」では、寺院・僧侶に「期待することはない」が減少し、「不安な人たちに寄り添う」「コロナ禍収束を祈る」が上位を占めました。

今こそ、人々のこの思いに応えるため、寺院や僧侶は、檀信徒・門徒や地域の方々に、安心して参拝できる感染症対策の取り組みを積極的に伝え、近況を伺いながら話を丁寧に聞いて、それぞれができることを形にする時です。本会も、SDGsの理念「誰一人取り残さない」の精神で皆さまのご協力をいただきながら取り組んでまいります。

△仏教とSDGs△ 第二弾

現代社会における仏教の平等性とは

△LGBTQの視点から考える△

2020年11月5日、本会は仏教とSDGsを考えるシンポジウム「現代社会における仏教の平等性とは △LGBTQの視点から考える△」をオンラインで開催しました。8月の「女性の視点から」に続くSDGsシリーズ第2弾です。パネリストは、日本最大のLGBTQプライドパレードである特定非営利活動法人東京レインボープライド共同代表理事の杉山文野さん、僧侶でメイクアップアーティストの西村宏堂さん、臨済宗妙心寺派の僧侶、川上全龍さんの3人です。



〈第一部〉提言

杉山文野

杉山さんのお話は、自身の生い立ちから始まります。東京都新宿区に次女として生まれた杉山さんは、幼小中高と女子校に通いました。セーラー服にルーズソックスという当時の女の子の流行の格好をしていましたが、特に中学から高校にかけて自分の身体に対する強い違和感を覚えていたと言います。



「体は女の子として成長していく一方で、気持ちは男性としての自我が強くなっていく。引き裂かれるなんていう簡単な言葉では済まない心理状況。自分だけが頭がおかしいんじゃないかと。こんなのはこの世に一人しかいないんじゃないかと。根拠のない罪悪感で自分を責め続ける毎日でした」

当時は、とても自分から言えるような環境ではなかった



たそうです。テレビを付けると、お笑い番組で女性的な男性がネタにされる。それを見た家族も、次の日の学校での友人も、嫌悪しながらも笑う。もし自分が本当のことを言ったら、同じように扱われるのではないかと不安で「むしろ僕も『キモイ』って言って笑い飛ばして、なんとか自分がバレないようにビクビクしながら過ごす学生生活を送ったといえます。

辛かったのはロールモデル、つまり人生のお手本がないということ。杉山さんは言います。

「社会で活躍する大人の中に、LGBTQであることをオープンにしている人はほとんどいないので、僕はこの時期、自分が女性として年を重ねていく未来が全く想像できませんでした。かといって男性として暮らしていく社会や未来も知らなかったため、自分は大人になれないんじゃないかなど。その前に死にたいな」そんなことばかり考えていたそうです。

カミングアウトー転機ー

杉山さんは中学の時に、一人の女の子と付き合い始めます。周囲には言わずにいましたが、一緒にいる時間が長いと、どうしてもレズビアンのカップルと後ろ指を指されるようになります。学校の先生にまで気持ち悪いと言われたこともあるそうです。なんとか頑張って付き合っていたのですが、高校の途中で振られてしまいました。

ただでさえ辛いことですが、なにより自分の唯一の理解者がいなくなるかもしれないという孤独感に苦しんだと言います。しかし、パレるのが怖くて学校には行き続ける。見かねた友人が声をかけます。

「仲良しだった友達に首根っこ掴まれて放課後の部室まで連れていかれて『ここまで来たら誰も来ないから

言ってごらん。何かあったんでしょ?』実は……」と。それが初めてのカミングアウトになりました。

泣きながら何を話したのかも覚えていません。18年近く誰にも言えなかった思いを吐き出すように話して、恐怖はありませんでした。けれども、ずっと黙って聞いてくれた友達が最後に「話してくれてありがとうね」「性別がどうであれ、文野は文野にかわりないじゃん」と言ってくれました。

僕はそこで初めて、この世に生まれ出たと行っても過言ではないような気持ちになりました。僕は僕だと言ってもいいんだと、それでも友達だと言ってくれる人がいたんだと。決して僕は気持ち悪いだけの存在じゃなかったんだと」

このカミングアウトが、杉山さんの人生の転機でした。

生きやすい場所を探して

その後、少しずつ自己肯定感を取り戻しながら、大学・就職活動・ゴミ拾いのボランティア活動と歩んでいった杉山さんですが、性別を常に意識させられ、窮屈な思いをしたそうです。そこで、世界にはもっと暮らしやすい場所があるのではないかと旅に出ます。しかし、そうではありませんでした。

「最終的に南極船に乗ったんですけれど、その時ですら男性と部屋をシェアするのか、女性となのか揉めまして、こんな世界の果ても性別から逃げられない、いや自分自身から逃げられないんだ。であるならば移動して場所を変えるのではなく、今いる場所を生きやすく変えていくことが大事じゃないか」

この思いが杉山さんの現在の活動の原点です。

日本におけるLGBTQ

現在、杉山さんは一児のパパとして日常生活を送っています。ゲイの友人から精子の提供を受け、パートナーが体外受精で妊娠出産しました。



日本では2004年に性同一性障害特例法が定められました。この中ではもし戸籍変更をしたい場合、手術をして生殖機能を取り除くことが定められています。だから乳房の切除はしているけれど、子宮と卵巣の摘出をしていない杉山さんは、書類上は女性。見た目は男女のカップルでも、法律上では女性同士で、全く他人のシングルマザーとその子どもと生活していることになりました。だから「いざ彼女や子どもに何かあった時にも同意書一つサインができない。病院の面会すら断られるかもしれない。そんな不安定な中で社会生活を送っているのが現実」と杉山さんは言います。

婚姻の平等に向けて

そのような中、杉山さんはLGBTQのプライドパ



世界で同性婚が可能な国は約30。そこでは既に「同性婚 (Same Sex Marriage)」ではなく「婚姻の平等 (Marriage Equality)」という言葉です。つまり、法の下の平等をうたうのであれば、結婚できる人とできない人がいるのはおかしいという考え方です。日本では、法律ではなく自治体によるパートナー証明書の発行が広がっていて、10月1日現在、約60の自治体が進めているとのこと。

渋谷区から全国へ

この動きの皮切りになったのは2015年の渋谷区、世田谷区でした。それには杉山さんが大きな影響を及ぼしています。渋谷区長の長谷部健氏との出会いは15年前。学生時代に参加したゴミ拾いのボランティアを始めたのが長谷部氏だったからです。やがて杉山さんの著書『ダブルハッピネス』を読んだLGBTQの当事者たちが、そのボランティアに集まるようになります。それを見た長谷部氏は、マイノリティというだけで困っている人に、証明書を出すのはどうかと提案してくれたそうです。杉山さんは言います。

「長谷部さんとしては、結婚された時に『ただか紙切れ一枚って思ってたんだけど、婚姻届け出してみたらすごく幸福感があったんだよね。この幸福感を共有するだけでも街の空気って変わっていくんじゃないかな』そんな彼なりのアイデアで提案してくれて、じゃあできることからやってみようということ、小さな勉強会を開いてみたり、色々な方にお会いしたりする中で議会提案から、日本初となるパートナーシップ証明書の発行につながりました」
この一連の流れをふり返りながら杉山さんの目は未来を見据えています。

幼稚園では玩具として置いてあったスカートを切って、周りの女の子にどうやったらかよりオシャレになるか、プリンセスらしくなるか教えてあげていました。この時期までは好きな絵を描いたり、全く問題はなかったといえます。
しかし、小中学校に進むにつれて、そういった自分の好きなものを正直に人に話すと、気持ち悪く思われるのではないかと気になるようになり、自分らしくいることが難しくなります。実際、男の子の友達いるの？と聞かれたこともあるそうです。
高校生活のある日、家に帰る準備をしていたところ、クラスの男の子が「西村？あいつオカマでしょ」と言っているのを耳にします。その時の気持ちを西村さんはこう言います。

「私はその時、そもそも友達がいなくて、その子と話したこともなかったけれども、なんとなく分かるのかなと思って、布団圧縮袋の空気が掃除機でヒューと抜かれるような気持ちになりました」
好きなことを正直に話したら阻害されたり、馬鹿にされたりするのではないかと感じ、孤独で寂しい思いもしたそうです。セクシュアリティを笑われることへの理不尽さも感じたといえます。

殻を破る

そんな時に、ある映画がきっかけでアメリカに興味を持ちます。「日本では自分らしくいられないかもしれないけれど、アメリカに行ったら自分の思っていることや、セクシュアリティを受け入れてくれる人がいるんじゃないか」と思い、最初はボストン、次にニューヨークへと留学し美大に進んだそうです。その最中の2007年、ミスユニバーズで日本人

「この流れが、色々なことを象徴しているように僕は感じています。というのも、自分は決して世の中を変えてやると思ってたわけではなくて、普段の生活で出会ったものが、友達が困っているなら出来ることをやってみよう、小さな一歩を踏み出した。その一歩を積み重ねたら結果的には大きな流れにつながったのではないかなと思います。ですので、今日の機会もきつとそんな小さな一歩に、またそして大きな流れにつながる一歩なんじゃないかなと思っています」



杉山文野
(すぎやまふみの)

・株式会社ニューキャンパス代表取締役
・NPO法人東京レインボープライド共同代表理事

1981年東京都生まれ。フエンシング元女子日本代表。トランスジェンダー。早稲田大学院教育学研究科修士課程修了。2年間のバックパッカー生活で世界約50カ国十南極を巡り、現地で様々な社会問題と向き合う。日本最大のLGBTQプライドパレードである特定非営利活動法人東京レインボープライド共同代表理事や、日本初となる渋谷区・同性パートナーシップ条例制定に関わり、渋谷区男女平等・多様性社会推進会議委員も務める。現在は一児の父として子育てにも奮闘中。



が世界大会で優勝したという話を聞き、日本人でも活躍できるんだと勇気づけられます。そこで当時、興味を持っていたメイクを勉強するため、ミスユニバーズでメイクをしていたアーティストのアシスタントに入ります。
小学生以来閉じ込められていた殻を壊せたのはその時でした。オシャレが好きだった自分に正直になり、自分にメイクをするようになります。他人にメイクすることも学びました。

僧侶の道へ

さて、大学を卒業してメイクアップアーティストのアシスタントとしても働き始めた時、西村さんはその後の進路について考えます。
お寺に生まれただけで継ぐのを期待されることや、仏教の考え方について疑問を抱いていた西村さんは、お母さまの言葉を思い出します。

「母はピアノリストなんですけれども、もしモーツァルトの曲が嫌いだと言うのなら、ちゃんと自分で勉強して、弾けるようになってから初めて批判ができるんだよと言っていました」
そこで、西村さんは仏教の勉強をして僧侶の資格を取った上でどうなるか、自分を試すために修行に入りました。

髪を剃ることはすごく嫌でしたが、やってみると自分が案外似合っていることにも気がつきます。とはいえ長い法要を一日5回も6回も行う修行はとても大変だったそうです。

自分が変わり、周りを変える

続いて登壇されたのは西村宏堂さん。僧侶でメイクアップアーティスト、またLGBTQの啓発活動をされています。



メイクアップアーティストとしては、ミスユニバーズの世界大会やLAのハリウッド女優、歌手のメイク。また最近では「クィア・アイ」に出演したり、ニューヨークの国連人口基金本部やイェール大学などで講演したりと世界的に活躍されている浄土宗の僧侶です。

自分らしさを探して

小さい頃の西村さんは、風呂敷を頭にかぶりお母さんのワンピースをドレスにして踊って歌う、ディズニープリンセスが大好きな子どもだったそうです。



修行中のある日、お風呂に入っていた時、滋賀県出身の修行僧が、パンツを履こうとしていた西村さんに近づいて「テーマ最初見た時カマかと思ったぜ」と言ったそうです。西村さんは高校時代を思い出します。

「あの時は何も言わずに帰った。でも今は違う。私、高校の時と同じ人間になって自分にちょっと聞いてみて考えたんです。ニューヨークにいた時いろいろな人に出会いました。私の学部の学部長はゲイを公言して、すごい活躍して素晴らしい先生でした。いろいろな人がLGBTQの仲間です。ファミリーであるということも学びました」

そして、アップル社のCEOティム・クックなどがイを公表している著名人を挙げながらこう続けます。

「皆さん本当に多くの人の生活をすごく良くしてくれています。例えば、みんなiPhone使ってるし、マーク・ジェイコブスとかイヴ・サンローランとかに憧れている人もたくさんいる。だから私は馬鹿にされることもない、私には能力が無いわけでもないし、人としての価値がセクシュアリティで決まるわけ

はないと思いましたが、今、自分が変わらなかつたら日本は変わらない。昔の自分のためにも、今馬鹿にされて苦しんで自分らしくいられない人のためにも、言わなければならぬ、そう決意して西村さんは彼にこう答えます。



「そうだよ」

「その子すごいビックリして、男性間での性行為について聞いてきて、それはLGBTQと関係ないし、人にお風呂場で聞くようなことじゃないだろうと思ってモゴモゴしていたら、私を前から知っていた友達が『西村くんを知ってる？ニューヨークに住んでいて、ミスユニバースとかのメイクをしているんだよ』と話に入ってきてくれたら、その子はさらにビックリしちゃって、自分は滋賀県から来ている、東京に来るのがビッグイベントだったのにニューヨークから来ている人がいるって聞いて、目を大きくして静かになったんですね。

わー面倒くさいな、もうハラハラしたよと思いがら部屋に帰る時に、その子が私の左方をパタパタと歩いてきて『ニューヨークでもがんばれよ』って言うてくれたんです。えーさっきまであんなこと言っていたのに、今度は応援してくれるの？とすごくビックリしたんです。

自分の価値は劣等ではない、そして馬鹿にされる立場ではないという気持ちを言葉に乗せて伝えられたことで、その子の気持ちが変わったんだなってすごく自分のことを誇りに思いました」

自分らしい僧侶の姿

とはいえ、僧侶になることへの葛藤は続きます。仏教の戒には、装飾品やメイク、香水を付けてはいけないというものがあるからです。そこで、修行の最後に来ていた高僧に、同性愛者でメイクやハイヒールが好きな自分が僧侶としてふさわしいかどうか聞きます。高僧の答えはこうでした。

「仏教、浄土宗で一番大切なのは、皆が平等に救われるというメッセージを伝えることなんです。今はお坊さんで学校の先生をやったり、お医者さんもいる。そういう人は時計をつけたり白衣を着たりする。だからキラキラしているものをつけたとしても教えを伝えられるのであれば何が違いましょうか。私は問題ないと思います」

西村さんは「なにかこう大きなドアが開いて風が入ってきたような、とても爽やかな気持ち」になったと言います。

世界を視野に入れた活動へ

さて、現在の西村さんは何を目指すのでしょうか。浄土宗が大切にしている浄土三部経の一つに阿彌陀経があります。それを引いて西村さんはこう言います。

「ここでは、極楽での様子が描かれていて、極楽には色々な蓮の花が咲いていますよ、青い蓮の花は青



く輝き、黄色い蓮の花は黄色く輝き、赤い蓮の花は赤く輝き、白い蓮の花は白く輝く。これはそれぞれの個性の人が、それぞれの色で輝くことが美しいんだ、それを肯定しているんだという内容です。(中略)小さい時から仏教のこと疑ってかかってたけれども、仏教は実はもう2000年も前から多様な人を応援してくれていたんだという風に感じました。(中略)

日本でも私のように辛い人もいるし、世界には宗教的な理由で自分らしくいられない、自分らしく生きることが罪だと言われている人もいます。他の宗教を否定したり、ここが間違っていると言う気持ちはないけれども、私は自分が仏教のお坊さんであるという立場から、私が勉強してきた仏教では皆が平等ですよ、そしてそれぞれがそれぞれで輝くというのが素晴らしいんですよ、ということをお坊さんという行動や体験を通して伝えていきたいと思っています」

川上全龍

最後に登壇されたのは川上全龍さん。臨済宗妙心寺派、京都の春光院の副住職です。

現在は、世論調査会社ギャラップ社で主観的ウェルビーイング (well-being, 「幸せ」と訳される) の質問事項を考えるグループに入り、今世界で言われている幸福度とは何かを考える仕事もされています。特に日本や台湾、韓国などの東アジア諸国は、先進国の中でも50位くらいですが、これは質問事項が西欧哲学ベースの欧米寄りのもとの考え、仏教的、東洋哲学的に考えた幸福度とは何かを考えることに従事されているとのこと。

川上さんのお話も自身の生い立ちから始まります。

反骨心

川上さんはお寺の生まれ。曾祖父の叔父の代から春光院を任されているそうです。本山妙心寺の塔頭という場所がら、周囲はお寺だらけ。町内会の人びらお坊さんという環境で、将来を勝手に決められている感じが子ども心に面白くなかったと言います。

高校時代、陸上部だった川上さんは、ワシントン州との交歓試合に参加します。周りから変わり者と言われる日本の学校になじめなかったこともあり、アメリカに行った時、なんかこいいかもと感じたそうです。帰るとすぐに「もう大学受験やめます、日本の大学行きません」と先生に。反対はされましたが、自分の意志を貫きます。

英語の成績が余り良くなかったこともあり、まずはテキサス州のライス大学というところの語学学校に行きます。当時のアメリカでのアジア人男性のイメージ

は、「ベスト・キッド」のミヤギさんや、『グーニーズ』のキー・ホイ・クアンのような、スポーツのできないガリ勉というもの。その中で、投擲をやっていた川上さんは、身体がごつく珍しがられ、教授陣にも可愛がられたと言います。次に、社会心理学を志して進学したのはアリゾナ州立大学でした。

気づき

川上さんはアメリカに行った時の自分を保守的な人間だったと言います。留学したのも南部という保守的な場所。LGBTQに関して、アメリカはまだ葛藤している、偏見が残っている時代でもありました。テキサス州の大都市、ヒューストンは比較的リベラルだったとはいえ、それでもカミングアウトできる状況ではなかったそうです。



西村 宏堂
(にしむら こうどう)

メイクアップアーティスト/僧侶

メイクアップアーティストであり、僧侶であり、LGBTQでもある。独自の視点で「性別も人種も関係なく皆平等」というメッセージを発信



著書『正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ』

Photo by Masaki Sato

そのような環境の中、たまたま訪れたバーになつたとした男性が入ってきた時、川上さんは思わず差別的なことを言ってしまう。すると隣にいる友達から手痛い一言を食らいます。「何言っているの、僕もそのうちの一人だよ」「じゃあお前もアジア人だからって差別されるのってすごく苦しくないか」。

当時のテキサスでは、ヒューストンなどの大都市から一歩外に出ると、映画で見えるような人種差別が普通に残っているところでした。ガソリンスタンドで給油しようとするオナーから「とっとと出てけ」と言われたこともあるそうです。そのような差別を受けていた自分もLGBTQの人に対して差別をしていたのだとそこで気づきます。川上さんは言います。

「友達から、僕は僕じゃない？僕のことをわかっているよね？ただ僕がゲイだっただけで差別するの？みたいなこと言われたのです。」

人種差別の現実

川上さんの奥さまは、京都の大学で日本美術史を日本語で教えているアメリカ人で、日本在住歴は10年になります。しかし、食事に行く店員さんはいまだに川上さんの方ばかり見て話さず、奥さま一人の時は「Welcome to Kyoto」と書かれたケーキを出されたこともあるそうです。日本では外国人としての見た目で判断されます。

逆に結婚してすぐに二人でアリゾナに行った時には、ショッピングモールで周りの人にジロジロ見られる。

「たしかに例えば五戒があつて、その中に不邪淫戒はあるんだけど、それは両方が認めていない性交とか体を触ったりとかすることがダメなだけであつて、同意がある二人が愛し合つていればいいんじゃないの。だからそこで突っかかってくるのはおかしくないか、とにかく決まりの分からない人間がちょっとした知識をかじって、なんで反対だ賛成だだ言うのですか」と。電話をかけてきた人はガチャンと切ってしまったそうです。

川上さんの話は、仏教の基本的な考え方に及びます。「元々こういうことは、その人の生き方にかかわることです。」

でも生き方をこうだ、ああだ、これが正しいのだ、これが絶対なのだというのはあまり仏教的じゃないのです。場所とか時代に合わせてどんどん変化を遂げてきて、私が今やっているウェルビーイングの世界だと、人がどう善く生きるのか、どうすれば善い状態を保てるのかみたいな話なので。

だから同性愛だから異性愛だからと区別するのではなくて、人間としてどう生きるのかってことを、結婚式の中で中心にやっているわけです。」

最後に川上さんは、お寺での同性婚に込める思いを述べます。

「皆さんが安心して結婚式を挙げられる場所（にした）い。仏教っていうと法事とかお葬式とか、死んでからっていうイメージがあるんですけど、仏式結婚というのは昔から日本にあるわけだし、死ぬも生きるも同じもので、同じ人の人生の一部であるわけです。だから、ここでみんなで新しい一歩を踏み出す。」

私がやったことって宗教的な結婚式なので、法的なところは何もありませんけど、逆にその方が重いつてのは大切だと思うのです。法律的なところも重要で



る。北部のシアトル出身で人種差別を経験したことのない奥さまに、川上さんはここは白人の女性とアジア人の男性と一緒にいると奇異の目で見られる場所なのだ、理由を説明したそうです。

同様のことは去年の夏に行ったスコットランドのデザインバラでも経験しました。

さらに、川上さんのお子さんと「ハーブ」だから友達になりなさいと言つた人が日本にはいまだにいるそうです。

だれもが安心して生きられるように

さて、川上さんは春光院で同性婚を支援しています。きっかけは、2012年くらいに女性同士のカップルからきた依頼でした。そのうちの一人はお寺によく来る方。その方が「実は結婚式をここで挙げたいのだから……女性同士だけでも問題はないかと」。

川上さんが経典を調べると、在家の方に対して上座部

けど、日本の法律の場合、宗教家がそれはできないので、やっぱりその瞬間、結婚式を挙げる瞬間を、その二人にとっていかに一番思い出深い瞬間にできるかなと思つて努めております」



川上全龍
(カワカミゼンリュウ)

1978年生まれ。米国・アリゾナ州立大学の宗教学部卒業。瑞巖寺専門道場での修行後、2007年に妙心寺塔頭・春光院の副住職になる。Mind & Life Institute, MIT, Microsoft, 京都大学、トヨタなどの国内外の大学、研究機関、企業などで講演を行う。また2008年からは米日財団の日本リーダーシッププログラムのフェローとしても活躍。著書『世界中のトップエリートが集う禅の教室』（角川書店）

仏教は細かい決まりがいっぱいあったけれど、大乘仏教の場合はそうではありませんでした。川上さん自身、その頃にはLGBTQへの偏見はなくなり、理解も進んでいた。是非やってみようとなったそうです。

それが新聞の記事に載りました。すると電話がガンガンかかってきます。多くは反対派の人たちからでした。曰く「神代の時代から結婚式っていうのは男性と女性で決まってるんだ」「妙心寺派の檀家ですけど、あなたみたいな人がいるから妙心寺派の名声が落ちる」と。その一つ一つに川上さんは反論します。

「古事記に載っている最初の結婚式は兄妹ですよ」

「仏教経典の端から端まで読んだことあるのですか」



〈第二部〉 トークセッション

ウェルカミングアウトのできる社会へ

第2部では、本会の理事長、戸松義晴を交えたトークセッションが行われました。

ここでは、当事者のカミングアウトではなく周囲のウェルカミングアウト、つまりカミングアウトを歓迎する環境を作り安心感を醸成していくことの重要性や、LGBTQを善し悪しではなく事実として捉える知識を教育する大切さ、あるいは仏教はもともと既成の概念や常識を疑うものであること、そして自分や他人を属性に当てはめてこうあるべしと考えるのではなく、人々のこうありたいを応援する社会を目指すべき、など様々な興味深い話がなされました。

その模様は本会のYouTubeチャンネルにて配信しています。是非、全編をご覧ください。

全日本仏教会

YouTube公式チャンネル



<https://www.youtube.com/channel/UCc0p6FfeQPdmY5a-6v-AIg>

自死とグリーフケアを考える 〈第1回〉

昨年からはじめた新型コロナウイルス感染症の影響でさまざまな対策がとられ、社会には閉塞感が漂っています。夏頃になるとニュースや新聞記事に、「コロナうつ」や「自死」という言葉が目立つようになりました。

そこで今号から、自死を心に抱いている方々や残された遺族たちに、宗教者や仏教者は何ができるかを考えていくための連載を始めます。急増する悩みや苦しみを抱く人たちを救うきっかけとなることを願います。

事務総長 木全和博

初回は、一般社団法人リヴオン代表、尾角光美さんへのインタビューです。本人も母を自死で亡くした遺族であり、グリーフケアを実践する一人。近年では、「僧侶のためのグリーフケア連続講座」を開き、多くの僧侶にグリーフ(深い悲しみ)ケア(サポート)を知ってもらうための活動を行っています。その経緯や思いを伺ってみましょう。



尾角光美(おかくてるみ)

一般社団法人リヴオン 代表。国際比較社会政策学修士。19歳で母を自殺により亡くし、2006年から全国の自治体、寺院、学校などで講演に呼ばれ、2009年リヴオンを立ち上げ、母の日プロジェクト、遺児支援、僧侶のための連続講座、いのちの学校など活動を広げてきた。「グリーフケアが当たり前にある社会の実現」を目指し活動している。近著『なくしたものとつながる生き方』(サンマーク出版) 共著『自殺をケアするということ』(ミネルヴァ出版)



Live on (リヴオン)とは「生き続ける」という意味です。
何が生き続けるのか。
亡くなった人たちのいのち
私たちのいのち
が生き続けるという願いをこめています。

グリーフケアとの出会い

私は2003年に、母を自殺で亡くしました。当時はまだ19歳で大学に入る10日前でした。当然精神的に苦しんだのですが、喪失の影響は心だけじゃないんです。身体はこわして動けなくなり、経済的にも困窮しました。あしなが育英会から奨学金を借り、自殺、災害、病気、海外ではテロやスマトラ沖地震等の遺児のケアに出会うことになりました。グリーフケアと出会い、近い痛みや悲しみ、を分かち合う力を知りました。

グリーフケアを当たり前に

2006年に「自殺対策基本法」が制定されると、全国の行政が遺族の声を届け支援を拡充しなければならなくなりました。行政が遺族会を立ち上げていくために行われたシンポジウムが各地で行われ、私は滋賀県で初めて講演をすることになったんです。だんだんと講師として外に出ていくことが多くなり、社会課題を解決する起業家のためのビジネスプランコンペで一番の賞をいただくこともありました。2009年には「グリーフケアが当たり前にある社会を実現する」というビジョンのもと、リヴオンという団体を設立しました。

お坊さんとの出会いと協働

自殺対策の法律制定の翌年、浄土真宗本願寺派

が全ヶ寺調査を実施しました。そこから見えてきたのは、自殺予防や遺族支援に対して取り組んでいるお寺が少ないという現状でした。そこでシンポジウムを開催することになり、講師として登壇させていただきました。これがお坊さんとの初めての接点となり、自死遺族支援のためのワークショップや研修の場に様々な宗派から呼ばれるようになりました。自殺によらず、いかなる死別のご遺族に対しても、グリーフの理解がお坊さんに必要なことが認知されてきたのか、最近では「グリーフケア」全般での研修も増えていきます。特に震災以降は多くなっている用を感じます。

保育士さんが現場に出るのに、子どもの心理とか、子どものことを学びますよね。でもお坊さんは、自分が出ていく現場で必ず出会うご遺族がどんな気持ち、反応をするのか、全く学ぶ機会はありません。研修を受けられたお坊さんの中には、「どんな声かけをしたらいいのかかわからず戸惑っている」「お経と法話だけで力になれているような気はしない」といった声をあげる方も多くいらっしゃいました。

僧侶になる教育の中で、仏教の儀礼作法や教えの学びに終止しているからかもしれない。法話をすれば、儀礼を執り行う以前の関係性をどう築くか、迷っているお坊さんはたくさんいます。私はとりたてて自殺のことを学ぶべきとは思っていないんですが、実際に困った事例を挙げてもらうと、自殺やお子さんを亡くされた場合を挙げられる方が多いです。お坊さんも人間で、私たちと変わらず、目の前に苦しむ人が現れた時に困ることもある存

在。そもそも仏教者は苦に向き合うのが本業で、いかなる苦であっても、プロフェッショナル特に死に対してはとっていただので、初めは意外に感じました。しかし、お寺に生まれただけで、その役割を担わなければならないというのは、大変なことだと思います。儀礼や教義に加えて、現場で死別や喪失によるグリーフを抱えた人といかに向き合うかを学ぶ場の必要性を感じ、連続講座を法人でも行うようになりました。本格的にお坊さんと一緒に働き始めたのは、浄土宗さんの「共生地域文化大賞」において「優秀賞」をいただいたお寺とNPOの協働事例です。2010年に石川県小松市の真宗大谷派のお寺さん、約10ヶ寺のお坊さん、坊守さんたちと共に連続講座を行ったのが大きなスタートでした。今でもそこでは分かち合いの会が定期的に開催されています。お寺だからこそ、日常の中ではなかなか言いづらいことも言いに来られることがあるのでしよう。

更に、名古屋で学びたいという超宗派のお坊さんの声を受けて、2014年には「僧侶のためのグリーフケア連続講座 三古屋」を開



講しました。そこから、東京、北海道、静岡と各地域でも開講することになり、これまでの卒業生は300名近くいます。定員を超える受講希望もあり、とてもありがたいことです。今年も九州・関西・東京の同時開催で、コロナの影響を受けながらもオンラインでの受講できる形を整えながら一年かけて毎月開講しました。

講演、研修、講座を併せると、これまでおそらく1万人以上の多くのお坊さんと学びを深めてきましたが、その中で強く感じたのは、そもそもグリーフケアという言葉や概念がない時代から、日本には仏事を通して死別を支え、分かち合える仕組みをもっていたということ。例えば枕経や通夜の席で、亡くなった人に言葉を伝えて、くような時間と場をつくる卒業生が実践報告をしてくれていました。一昔前までは夜通し、亡き人を囲んで思い出話などをしてきた風景が日本中であつたと言います。七日七日のお参りも、回忌法要も海外からは優れたグリーフケアの仕組みだと言われています。お寺や日本仏教だからこそそのグリーフケア、サポートが生まれるのだろうと強く信じています。

「乗り越える」のではなく「ゆらいでいい」

講座の学びはどのようなものか。一基礎的な部分は、グリーフ(喪失の反応)の正しい知識と、捉え方です。死別の悲しみ、苦しみは「乗り越える」とも思っている方が多くいらつしやいます。「ご遺族が立ち直るにはどうしたらいいか」といった動機

で、はじめは学びにくるお坊さんもいますしかし、グリーフというのはそういうものではありません。以前、震災でお子さんを亡くしたご遺族が「一生この思いを携えて生きていく、お坊さんには悲しみを奪わないでほしい」と言われました。悲しみは悲しみであるけど、同時に愛おしく思う気持ちでもある。悲しいという気持ちは、その人を思う愛おしさがあるからこそ生まれてくるのです。だとすると、その悲しみは果たして「乗り越える」べきものなのでしょうか。それをどうやって、大事に抱いていくのかも大切ではないでしょうか。実はもう20年も前に国際的な研究として、回復に向かうことだけが大事なのではなくて、喪失と回復のあいだをゆらぎながら両方大切に生きていけると、喪失に折り合いをつけやすいことが明らかになっています。悲しみを抱いている人に相談されると、回復させなければと、ついみんな思い込んでいて、前向きに頑張りましようという形で返してしまふ。それも大事ですが、亡くなった人のことを思い出したり、何年経っても泣いてもいいということも大事。ゆらいでいいということ。この墓にはおそらく、回復を応援する人たちが、前向きに生きましようという人はたくさんいると思えますが、亡くなった人、失ったことを大事にする営みは支えてくれる人がまだまだ少ないです。でも、日本の仏教、仏事はその部分を支える力をもっています。仏事には悲しみを含めた丸ごとを包むような力があつて、亡き人とのつながりを豊かにしていく力があるのだろうと感じています。

講座でもお伝えしていますが、仏教はジャッジを

くのだろうかと、存在意義が問われていると感じられている方もいるでしょう。誰のために、何のために葬儀をするのかという、一つの本質的な問いがそこにはあるのではないのでしょうか。葬儀はまず故人を送ることが第一義だという方、教えと出会つてもらうことだという方もいるかとは思いますが、まずそこにいるのはご遺族や喪失を経験されている方です。亡き方とその場にいる人に僧侶自ら真摯に向き合うことに取り組んでいくと、お寺は感謝される存在であり続けるだろうし、法事や仏事は減らないはずと考えています。本当に大切なことはなにか、本質が問われる時代だからこそ、私自身は、希望を抱いています。

お寺・僧侶に期待すること

最近、真宗大谷派さんの教師資格(住職になるための資格)の教育に、グリーフケアがカリキュラムとして正式に入ることになりました。カリキュラム開発と講師研修の準備を進めています。それを通して多くの方にグリーフケアを届けられる人になってほしいと思っています。また先にも話しましたが、お寺に生まれただけで、お坊さんにならねばならないのは大変なことだと思います。それに社会的に厳しい評価の目に晒されることも多い存在です。仏教や僧侶という存在、お寺という場にはまだまだ人々をサポートする力がある。そう勇気づける活動を私自身は続けていきたいと思っています。



本会に加盟する宗派や団体では、
思い悩む人々に僧侶が答える電話相談窓口を
設けています。

曹洞宗

●心の電話相談室
03-3454-5420 | 火~金 | 12時~14時

●親世ふぉん(青年僧による電話相談)
080-1546-7464 | 日曜日のみ | 22時~24時
080-1547-5646

浄土真宗本願寺派

●「いのちと念仏」相談センター
075-371-5811 | 月曜日、水曜日 | 12時30分~16時

真宗大谷派

●ココロダイヤル
03-5923-5560 | 金曜日のみ | 10時~21時

浄土宗

●心といのちの電話相談室
03-3436-6823 | 月曜日、金曜日 | 10時~16時

日蓮宗

●日蓮宗総合相談所
03-3751-7181 | 月~金 | 9時30分~16時30分

●いのちとこころの電話相談
075-751-7191 | 無休 | 24時間

真言宗豊山派

●豊山派テレホン相談室
03-3946-1166 | 火曜日(宗務所休日を除く) | 10時~15時

仏教情報センター

●仏教テレホン相談
03-3811-7470 | 月(曹洞宗) | 10時~12時
火(浄土真宗) | 13時~16時
水(日蓮宗)
木(浄土宗)
金(天台宗、真言宗)

各宗派有志

●大阪仏教テレホン相談室
06-6245-5110 | 月~金 | 14時~17時

●全日本仏教会ホームページ
http://www.jbf.ne.jp/eventcont/telephone_advice

第4回花まつりデザイン大賞発表！

ポスター大賞作品

「やすらぎの地」
竹之内 和美さん

【コメント】
やすらぎの地をイメージして、
柔らかい色使いにしました。



絵はがき大賞作品

「祝福を」
横山 未奈さん

【コメント】
単純に大きく花を描いて、お釈迦様の誕生日を
祝いたいと思いました。私は小学生の時にしか
「花まつり」に参加した事がないのですが、甘茶
がとても印象に残っているのを覚えています。
なので、お釈迦様、花、甘茶をモチーフに絵を描
こうと思いました。



「花やかな
おしゃか様の
たんじょう日」
相馬 未来さん

【コメント】
お釈迦様の誕生日なので、お花を
華やかにかざり、お祝いをしてあ
げたいと思いました。

受賞されたみなさま、おめでとうございます。頒布・配布については巻末をご覧ください。

第三十四期 第二回社会・人権審議会開催

令和二年九月三日、本会会議室からオンライン会議を開催した。審議に先立ち木全和博事務総長より三帰依文、挨拶。会議の冒頭では、第一回で審議された「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝についての要請」について報告した。続き第三十四期審議事項の「死刑制度を問うとき、いのちの尊厳と人権の見地から仏教者はなにをすべきか」の審議に入った。事務局より、第三十三期の経緯について説明し、その答申を受けて、意見表明をするだけでなく、答申に基づいて仏教界がなにをすべきか、答申の内容、またいのちの尊厳に対する思いをどのような形で示しているかについて種々意見を交わし終了した。

【第一回社会・人権審議会概要】

日 時：令和二年九月三日（木）
午後一時三十分～
場 所：全日本仏教会会議室
オンライン会議
出席理事：四名
出席委員：九名（十四名中）
代理出席：二名
出席事務局：四名

○進行内容

事務総長挨拶
諮問事項について審議
次回以降の審議内容の確認

○出席者（順不同・敬称略）

- ①理事
戸松義晴（浄土宗）
成田隆真（曹洞宗）
上沼雅龍（臨済宗妙心寺派）
杜多徳雄（天台宗）
- ②社会・人権審議会委員
我孫子高宏（曹洞宗）
宇野哲哉（浄土真宗本願寺派）
荷葉一浩（真宗大谷派）
佐々木基文（高野山真言宗）
谷 明生（臨済宗妙心寺派）
石井健誉（真言宗豊山派）
株橋隆真（法華宗〔本門流〕）
岡田真水（学識経験者）
小池達子（学識経験者）
- ③代理出席
井上善講（浄土宗）
志井浩順（天台宗）
- ④オブザーバー
長谷川正浩（顧問弁護士）

第三十四期 第一回広報委員会開催

令和二年十月二十九日、本会会議室からオンライン会議を開催した。木全和博事務総長より三帰依文、挨拶。続き各委員による自己紹介を行った。事務局より広報委員会の業務について説明し、会議に入った。会議では各委員より所属団体が持っている広報活動と力を入れていく広報戦略、全仏広報への提言などについてご意見を頂き、今後の方向性などについて種々意見を交わし閉会した。

日 時：令和二年十月二十九日
午前十時三十分～
場 所：全日本仏教会会議室
オンライン会議
出席委員：十四名（十七名中）
代理出席：一名
出席事務局：四名

○進行内容

事務総長挨拶
各自自己紹介
委員会の内容説明
意見交換
○委員出席者（順不同・敬称略）
篠原壽王（曹洞宗）
寺住太祐（浄土真宗本願寺派）

第三十四期事務総局人事

（二〇二〇令和二年四月一日～
二〇二二令和四年三月三十一日まで）

事務総長	木全 和博（真宗大谷派）
総務部長	和多 善秀（浄土真宗本願寺派） 再任
総務部次長	西岡 慈圓（真言宗智山派） 再任
総務部主事	山崎 美由紀
財務部長	藤井 朋行（真宗大谷派） 異動
財務部主事	小山 智恵
財務部主事	山本 雅彦（曹洞宗） 新任
社会人権部長	坂本 大樹（臨済宗妙心寺派） 再任
社会人権部次長	齊藤 哲圓（天台宗） 異動
広報文化部長	関 勝道（日蓮宗） 新任
広報文化部次長	平井 敦夫（真言宗豊山派） 新任
国際部長	掬池 友絢（浄土宗） 再任

「救援基金」寄附者一覧

（二〇二〇令和二年九月一日～十二月三十一日）
（時系列順・敬称略）

東京都仏教連合会
高野山真言宗 社会人権局
公益社団法人 日本仏教保育協会
真言宗御室派
大阪府佛教会
顕本法華宗宗務院
神奈川県仏教会
岡山県佛教会
神奈川県葬祭業協同組合
真言宗豊山派福祉基金
日蓮宗
同朋舎新社 合同会社DOHOP
大洲市仏教会
齊藤清美（福岡県）
小千谷市仏教会
匿名希望 三件

総計 一、五〇九、六六二円

ご支援、誠にありがとうございました。

「賛助会員」新規入会者一覧

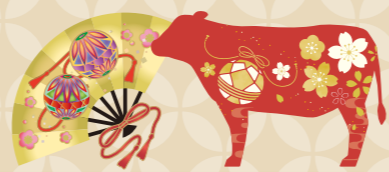
（二〇二〇令和二年九月一日～十二月三十一日）
（時系列順・敬称略）

〈個人会員〉
霧林 健（神奈川県）
〈団体会員〉
株式会社 オフィスワイズ
ご入会、誠にありがとうございました。

賛助会員募集

本会では賛助会員を募集しております。全国のご寺院をはじめ、企業や団体、個人としてご入会いただけます。入会等の詳細は本会Webサイトをご覧ください。
http://www.jbfi.ne.jp/about/about_index/about_member

新年お慶び申し上げます

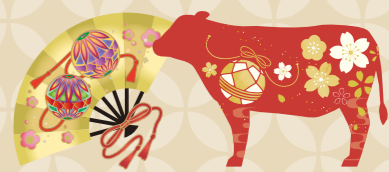


高野山真言宗
総本山金剛峯寺

管長 葛西 光義
執行総長 添田 隆昭
総務部長 長谷部 真道
執務部長 橋本 真人
国際学部長 橋本 真人
法務部長 佐伯 公応
信託部長 岡部 観栄
執行部長 山口 文章
山林部長 山口 文章
総務部長 加藤 栄俊
内務部長 加藤 栄俊
社会人部長 佐々木 基文
局長 佐々木 基文
教育学部長 丹羽 義寛
奥之院維那 仁賀 大善
伽藍維那 東 伸光
東京別院主監 廣瀬 義仙
東京宗務出張所 廣瀬 義仙
京都別院主監 柏田 良辯
京都宗務出張所 柏田 良辯

〒648 0211 和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
TEL 0736(五五)2011
FAX 0736(五六)4640
http://www.koyasan.or.jp/

新年お慶び申し上げます



竿頭の先に
未来をひらく

曹洞宗宗務庁

管長 南澤 道人
宗務総長 鬼生田 俊英
参議 熊谷 紘全
参議 石橋 晋哉
総務部長 橋本 壽幸
人事部長 成田 隆真
財政部長 服部 秀世
教育部長 小林 孝道
教化部長 浅川 信隆
出版部長 藤間 良信
伝道部長 岩井 秀弘

東京都港区芝二一五二一
〒105 8544 〇三(三四)五四二
▼曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」
https://www.setozen-net.or.jp/

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長 小倉 宗俊
宗務総長 栗原 正雄
総務部長 上沼 雅龍
花園部長(兼館長) 野口 善敬
教学部長 野口 善敬
財務部長 澤田 慈明
本部会長 古山 敬光
法務部長 吹田 良忠

おかげさま

〒616 8035 京都市右京区花園妙心寺町六四
TEL 〇七五(四六三)三二二一
FAX 〇七五(四六三)三二二一
https://www.nyoshinji.or.jp/

浄土真宗本願寺派

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

法要期日 2023(令和5)年
【第1期】3/29(水)~4/3(月)
【第2期】4/10(月)~4/15(土)
【第3期】4/24(月)~4/29(土)
【第4期】5/6(土)~5/11(木)
【第5期】5/16(火)~5/21(日)

親鸞聖人御誕生
850
立教開宗
800

ご縁を慶び、お念仏とともに

〒600 8501 京都市下京区堀川通花屋町下る
浄土真宗本願寺派 宗務所
TEL 〇七五(三七)五一八一
FAX 〇七五(三五)一三七一
https://www.hongwanjin.or.jp/

天台宗

天台座主 森川 宏映
宗務総長 阿部 昌宏
総務部長 小林 祖承
参事 甘井 亮淳
参事 船戸 俊宏
参事 岩田 真亮
参事 柴田 真成
参事 竹内 純照

伝教大師 1200年 大遠忌

天台宗祖師先徳顕仰大法会

〒520 0113 大津市坂本四丁目六番二号
TEL 〇七七(五七九)〇〇二二
FAX 〇七七(五七九)二五一六
http://www.tendai.or.jp/

真宗大谷派

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの
意味をたずねていこう

宗務総長 但馬 弘
儀式指導 土肥 人史
研究部長 望月 慶子
推進部長 藤井 宣行
推進部長 齊藤 法顕
参務 三品 正親

〒600 8505 京都市下京区烏丸通七条上る
常葉町七五四
TEL 〇七五(三七)九一八一
https://www.higashihonganjin.or.jp/

真言宗智山派宗務庁
総本山智積院

管主 布施 淨慧
宗務総長 芙蓉 良英
総務部長 三神 栄法
教学部長 山川 弘巳
教化部長 服部 融亮
法務部長 大森 真弘
財務部長 日下 敬啓
宗務出張所 倉田 隆伸

弘法大師 空海
ご誕生 1250年

〒605 0951 京都市東山区東大路七条下ル
東瓦町九六四
TEL 〇七五(五四)一五三六一
http://www.chisan.or.jp/

浄土宗

「浄土宗二十一世紀劈頭宣言」
愚者の自覚を
家庭にみ仏の光を
社会に慈しみを
世界に共生を

浄土門主 伊藤 唯眞
宗務総長 川中 光教
宗務役員 名越 邦博
宗務役員 光岡 素生
宗務役員 宮林 雄彦
宗務役員 杉森 隆志
職員 一同

浄土宗宗務庁
〒605 0062 京都市東山区林下町四〇〇、八
TEL 〇七五(五二五)二二〇〇
FAX 〇七五(五三一)五一〇五
〒105 0011 東京都港区芝公園四、七、四
TEL 〇三(三四三六)三三五一
FAX 〇三(三四三四)〇七四四
https://jodo.or.jp

真言宗豊山派宗務所

管主 浅井 侃雄
宗務総長 鈴木 常英
総務部長 岩脇 彰信
教化部長 小島 恵真
財務部長 細沼 秀行
教務部長 氏家 拓譽
教化センター長 小林 政彦
真言宗豊山派 総合研究院院長 高橋 尚夫

〒112 0012 東京都文京区大塚五、四〇、八
真言宗豊山派宗務所
TEL 〇三(三九五)〇六三九
http://www.buzan.or.jp/

日蓮宗

日蓮聖人降誕八百年

管長 菅野 日彰
宗務総長 中川 法政
伝道局長 塩田 義徹
総務局長 生駒 雅幸
伝道部長 関 本城
教務部長 栗原 啓允
総務部長 高津 憲周
財務部長 木村 吉孝
宗務総長室長 木内 隆志
日蓮宗現代 宗教研究所長 三原 正資
参 与 渡邊 義生
参 与 田中 智海
日蓮宗新聞社 長 館岡 壽宣

日蓮宗宗務院
〒146 8544 東京都大田区池上二、三二、一五
TEL 〇三(三七五)七一八一
FAX 〇三(三七五)七一八六
https://www.nichiren.or.jp

新年お慶び申し上げます



融通念佛宗 総本山大念佛寺

管 長 吉村 暲英

宗務総長 田中 瑞修

寺務総長 吉井 良久

教学部長 好野 良博

庶務部長 佐々木 智祥

会計部長 吉井 良久

〒547 0045 大阪市平野区平野上町一七二六
TEL 〇六(六七九)〇〇二六
FAX 〇六(六七九)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com>

新年お慶び申し上げます



天台真盛宗 総本山西教寺

貫首 武田 圓寵

宗務総長 前阪 良憲

社会部長 蜂谷 眞勝

庶務部長 色井 秀宰

教学部長 繩手 教真

財務部長 大上 良雅

〒520 0113 滋賀県大津市坂本五・三一
TEL 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

法華宗(本門流)

管 長 原井 日鳳

宗務総長 二瓶 海照

総務部長 三吉 廣明


教学部長 清水 常光

布教部長 吉崎 長生

財務部長 久野 晃秀

企画部長 平田 義生

〒103 0013 東京都中央区日本橋人形町二一九一
TEL 〇三(五六一四)三〇五五
FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkesu.or.jp>


一天四海皆輝妙法 お題目総下種運動
咲かそう、いのち
—宗祖日蓮大聖人聖誕800年—

天台寺門宗

管 長 村上 法照

宗務総長 金子 嘉純

教学部長 小林 慶明

財務部長 明石 清澄

修験道部長 秋田 幸輝

庶務部長 加藤 明信

録事 三島 宗覚

〒520 0036 滋賀県大津市園城寺町二四六
TEL 〇七七(五二二)五一一〇
FAX 〇七七(五二二)五一一八

法華宗(陣門流)

管 長 門谷 日悠

宗務総長 西山 英仁

総務部長 牧野 秀成

企画部長 金原 孝宜

財務部長 西山 聡達

教学部長 布施 義高

教化部長 松吉 慶憲

宗務参事 田中 隆寛

〒170 0002 東京都豊島区葉巻五三五六
TEL 〇三(三三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三五七六〇)一一一

大日本佛法最初 四天王寺

管 長 加藤 公俊

執行部長 瀧藤 尊淳

宗務部長 南谷 恵敬

総務部長 吉田 明良

法務部長 新井 順證


学校教育部長 宮崎 光映

学校教育部長 森田 惇朗

社会福祉部長 塚原 昭應

社会福祉部長 坂本 峰徳

〒543 0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺一丁目十一番十八号
TEL 〇六(六七七)〇〇六六
FAX 〇六(六七七)四九二一
<http://www.shitemoji.or.jp>


聖徳太子 千四百年御聖忌
自 令和3年10月18日
至 令和4年4月22日

顕本法華宗

管 長 大川 日仰

宗務総長 河野 時巧

宗務次長 吉永 義康

教務部長 小松 正学


財務部長 吉田 諦規

庶務部長 小島 芳明

社会部長 齊藤 成貴

布教部長 朝倉 俊泰

〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九十一
TEL 〇七五(七九一)七二七一
FAX 〇七五(七九一)七二六七


平成33年 宗祖日蓮大聖人 御降誕八〇〇年
顕本法華宗

総本山仁和寺 真言宗御室派

管門 長 瀨川 大秀

執行部長 吉田 正裕

宗務総長 鴨井 智峯

総務部長 長岡 誠宏

教学部長 長岡 誠宏

財務部長 大石 隆淳

〒616 8092 京都市右京区御室大内三三
TEL 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://ninnaji.jp>

一般財団法人 埼玉県佛教会

会長 倉持 秀裕

副会長 加藤 玄静

同 条原 恒久

専務理事 深谷 雅良

常務理事 山口 正純

同 河野 亮玄

同 馬場 知行

同 井倉 賢照

事務局 金子 嘉広

〒330 0063 さいたま市浦和区高砂四・一三・一八
TEL 〇四八(八六一)二一三八
FAX 〇四八(八六一)六六四九
<http://saibutunet/>

真言宗醍醐派宗務本庁 総本山醍醐寺寺務所

座主 仲田 順和

宗務総長 壁瀬 宥雅

執行部長 仲田 順英

総務部長 浦郷 宜右

教学部長 浦郷 宜右

財務部長 三好 祥徳

〒610 1325 京都市伏見区醍醐東大路町二二
TEL 〇七五(五七七)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七七)〇〇〇一
<http://www.daijogu.or.jp>

新年お慶び申し上げます



聖観音宗 浅草寺

貫首 田中 昭徳

執事長 守山 雄順

〒111-0032 東京都台東区浅草二・三・一
TEL 〇三(三八四二)〇一八一
FAX 〇三(三八四五)六九三三

金峯山修験本宗 総本山金峯山寺

管領長 五條 良知

宗務総長 五條 永教

執行長

〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町
吉野山二四九八
TEL 〇七四六(三二)八三七一
FAX 〇七四六(三二)四五六三
http://www.kinpusen.or.jp

新年お慶び申し上げます



神奈川県仏教会

会長 和田 大雅

副会長 佐藤 功岳

同 井澤 孝一

同 菅原 節生

同 高作 泰寛

事務局長 山本 昭弘

〒231-0859 横浜市中区大平町九六
西有寺内
TEL 〇四五(六六一)〇一六六

念法真教

総本山小倉山金剛寺

燈主 桶屋 良祐

〒538-0054 大阪市鶴見区緑三・四・二二
TEL 〇六(六九一一)二一〇一
http://www.nenpoushinkyou.jp

孝道教団

統理 岡野 正純

〒221-0064 横浜市神奈川区鳥越三八
TEL 〇四五(四三二)一一〇一
FAX 〇四五(四三四)一一八八

愛知県仏教会

顧問 吉田 教行

顧問 伊藤 正導

会長 舎人 経昭

副会長 渡邊 徳温

副会長 山田 泰信

副会長 岩木 涼山

理事長 林 大晃

事務局長 濱口 寛朗

〒466-0051 名古屋市中区御器所三・五・十八
久松寺内
TEL 〇五二(八二五)七一一六

弘法大師御誕生所 真言宗善通寺派宗務庁

弘法大師御誕生1250年
記念大法会厳修

— 令和5年4月23日(開白) ~ 6月15日(結願) —

於：総本山 善通寺

〒765-8506 香川県善通寺市
善通寺町三・三・一
TEL 〇八七七(六二)〇一一一
FAX 〇八七七(六二)四三〇二

真言宗大覚寺派 大本山大覚寺

管門 跡長 尾池 泰道

宗務総長 伊勢 俊雄

執行長

〒616-8411 京都市右京区嵯峨大沢町四
TEL 〇七五(八七一)〇〇七一
FAX 〇七五(八七一)〇〇五五
https://www.daikekuj.or.jp

京都府仏教連合会

理事長 但馬 昭英

理事 武田 雄弘

井原 正雄

栗原 英

芙蓉 良雅

壁瀬 宥妙

橋本 一

竹内 文成

奥垣 圭哲

佐藤 泰慎

長谷 良祐

村山 孝純

石河 法寛

石津 幸次

藤河 誠

齋藤 清隆

加藤 良邦

三井 雅弘

佐々木 亮一

赤塚 高明

佐野 充照

浦田 正宗

吉川 文雄

西山 惠龍

安田 真源

柏田 良辯

八幡 覺堯

下野 真人

監事 野

事務局長 下野 真人

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る
常葉町754番地
TEL 〇七五(三七二)九一八二
FAX 〇七五(三七二)一一二四

真言宗中山寺派 大本山中山寺

長老 今井 淨圓

〒665-8588 宝塚市中山寺二丁目十一・一
TEL 〇七九七(八七)〇〇二四
FAX 〇七九七(八七)九八七七
http://www.nakayamadera.or.jp

真言宗須磨寺派 大本山須磨寺

貫主 小池 弘三

〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺町四・六・八
TEL 〇七八(七三一)〇四一六

島根県仏教会

今年、十月一日・二日は
第四十五回全日本仏教徒会議
島根大会です。
皆様のご参加を
お待ちしております。

会長 清水谷 善圭

副会長 伊東 充伸

同 吉田 明弘

同 柳楽 一学

同 茶円 宥勝

事務局長 池上 幸秀

〒692-0404 島根県安来市広瀬町広瀬一四三二
洞光寺内
TEL 〇八五四(三二)二二二八
FAX 〇八五四(三二)二二二六

信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺

管長 野澤 密孝

前管長 田中 貞瑞

元管長 鈴木 貴晶

〒636-0923 奈良県生駒郡平群町信貴山
二二八〇一
TEL 〇七四五(七一)二二七七

真言三宝宗 大本山清澄寺

法主 坂本 光謙

宗務長 國定 道晃

執行長 森藤 晃正

鉄斎美術館 長 森藤 光宣

〒665-0837 宝塚市米谷字清シ一番地
TEL 〇七九七(八六)六六四一
FAX 〇七九七(八六)六六六〇
http://www.kiyoshikojin.or.jp

公益財団法人 仏教伝道協会

会長 木村 清孝

理事長 桂 紹隆

常務理事 青木 晴美

理事 門脇 邦彦

理事 野村 邦武

理事 沼田 恵明

理事 生田 忠士

理事 塩入 亮乗

監事 中野 東禅

監事 松村 智司

〒108-0014 東京都港区芝四丁目三・一四
TEL 〇三(三四五五)五八五一
FAX 〇三(三七九八)二七五八
https://www.dok.or.jp

新年お慶び申し上げます



北海道仏教会連盟

会 長 沙々木学海

〒060 0003 札幌市中央区北三条西十九丁目二、一
浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内
TEL 〇一一(六一) 九六二三

**真言律宗
総本山西大寺**

真言律宗管長 松村 隆誉
総本山西大寺長老
執事 長 辻村 泰範

〒631 0825 奈良市西大寺芝町一丁目一の五
TEL 〇七四(四五) 四七〇〇
FAX 〇七四(四五) 四七二〇

福島県仏教会

会 長 山口 修譽

専務理事 中村 正真
事務局 長 阪波 亮信

〒965 0044 福島県会津若松市七日町八、四八 金剛寺内
TEL 〇二四(二二) 一六八九

青森県仏教会

会 長 上田 祥悦

監事 村田 学風
監事 金山 晃道
事務局 長 上田 宗廉
事務局 中谷 正幸
事務局 若狭谷 良行
会 計 大橋 協司

〒031 0813 青森県八戸市新井田寺ノ上十三、一
TEL 〇一七八(二五) 五二四五
FAX 〇一七八(二五) 二四〇六

東京都仏教連合会

会 長 山田 一眞

理事長 新美 昌道

〒123 0851 東京都足立区梅田一、二十六、十 善立寺内
TEL 〇三(三八八六) 一三六七
FAX 〇三(三八八六) 八二五二

茨城県仏教会

会 長 岸野 教司

副会長 黒澤 彰哉
副会長 徳永 光由
副会長 奥田 俊裕
副会長 倉持 達哉

〒306 0642 茨城県坂東市長谷一八五〇、一 長谷寺内
TEL 〇二九七(三六) 八二五五
FAX 〇二九七(三六) 八二五五

静岡県仏教会

会 長 安永 祖堂

〒435 0046 静岡県浜松市東区九塚町五〇六二 十輪寺内
TEL 〇五三(四六一) 五三八八

山梨県仏教会

会 長 松永 直樹

副会長 佐藤 哲夫
副会長 鈴木 哲
顧問 姉川 慈航

〒400 0115 山梨県甲斐市篠原一三八、一
TEL 〇五五(二六九) 七六七六
FAX 〇五五(二六九) 七六六六

**一般財団法人
京都仏教会**

理事長 有馬 頼底

常務理事 宮城 泰年
同 坂口 博翁
同 佐分 宗順
事務局 長 長澤 香静

〒602 0898 京都市京都市上京区今出川通 烏丸東入相国寺門前町 六三六一
TEL 〇七五(二二三) 六九七五
FAX 〇七五(二二三) 六九七六

滋賀県仏教会

会 長 武田 圓龍

〒520 0013 滋賀県大津市坂本五十三、一 総本山西教寺内
TEL 〇七七(五七八) 〇〇一三
FAX 〇七七(五七八) 三四一八

新年お慶び申し上げます



**西山浄土宗
総本山光明寺**

管 長 堀本 賢順
法主 堀本 賢順
宗務総長 土江 賢祥
執事 長 土江 賢祥

〒617 0811 京都府長岡京市粟生西条の内 二六番地の内
TEL 〇七五(九五五) 〇〇〇二
FAX 〇七五(九五三) 二二六四

東京別院 東京都町田市小山ヶ丘一、二、一
TEL 194 0215 〇四二(七九四) 八五八五
http://www.komyo-ji.or.jp/

横浜分院 神奈川県横浜市港北区綱島西二、二、四
TEL 223 0053 〇四五(五四四) 四八九四
E-mail: k-betuin@ax.ca.ty.n.jp

東寺真言宗

宗務総長 吉村 増亮

〒601 8473 京都市南区九条町一 東寺真言宗宗務庁
TEL 〇七五(六七二) 三七一七
FAX 〇七五(六六一) 六八五六

**時宗
総本山清浄光寺**

法主 加藤 円住

〒251 0001 神奈川県藤沢市西宮一、八、一
TEL 〇四六(二三) 七二七六

**真宗高田派
本山専修寺**

宗務総長 増田 修誠

総務 藤谷 知良
総務 弓削 弘胤

〒514 0114 三重県津市一身町二八一九番地
TEL 〇五九(二三二) 四一七一
FAX 〇五九(二三二) 一四一四

**臨済宗円覚寺派
大本山円覚寺**

管 長 横田 南嶺

宗務総長 永田 正和

〒247 0062 鎌倉市山ノ内四〇九
TEL 〇四六七(二二) 〇四七八
FAX 〇四六七(二三) 三〇二七
http://www.ongakuji.or.jp

**臨済宗南禅寺派
大本山南禅寺**

管 長 田中 寛洲

宗務総長 蓮沼 良直

内局 一同

〒606 8435 京都市东山区南禅寺福地町八六
TEL 〇七五(七七二) 〇三六五
FAX 〇七五(七七二) 六九八九

**黄檗宗
大本山萬福寺**

管 長 近藤 博道

宗務総長 荒木 将旭

二〇二二年 宗祖隠元禅師三五〇年大遠諱
350 開元傳教350年大遠諱

〒611 0011 京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
TEL 〇七七四(三二) 三九〇〇
FAX 〇七七四(三二) 六〇八八

**臨済宗相国寺派
大本山相国寺**

管 長 有馬 頼底

宗務総長 佐分 宗順

〒602 0898 京都市上京区今出川通烏丸東入 相国寺門前町七〇一番地
TEL 〇七五(二三一) 〇三〇一
FAX 〇七五(二二二) 三五九一
http://www.shokoku-ji.jp

**本門佛立宗
本山宥清寺**

講 有 高須 日良

宗務総長 小西 日演

本山宥清寺 京都市上京区一条通七本松西入る
〒602 8336 滝ヶ鼻町一〇〇五番地一
TEL 〇七五(四六三) 四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三) 四六五一
本門佛立宗 宗務本庁 東京都中央区御前通一条上る
〒602 8377 東堅町一、一〇番地
TEL 〇七五(四六一) 一六六(代)
FAX 〇七五(四六四) 五五九九
京都佛立ミュージアム
TEL 〇七五(二八八) 三三四四
URL http://www.hbmuseum.jp

法華宗(真門流)

管 長 上田 日猷

宗務総長 堀 智泰
総務部長 堀内 浩善
教学部長 峰尾 泉栄
教化部長 木田 慧明
社会部長 坂本 法保
財務部長 寺田 良正

〒602 8447 京都市上京区智恵光院通五辻上る 紋屋町三三〇
TEL 〇七五(四四二) 五七六二
FAX 〇七五(四四二) 五六六六
http://www.hokke-shu.jp/

新年お慶び申し上げます



妙見宗
新義真言宗
真言宗山階派
真言宗泉涌寺派
真言宗国分寺派
真言宗犬鳴派
浄土宗西山禅林寺派
浄土宗西山深草派
真宗佛光寺派
真宗興正派
真宗木辺派
臨濟宗建長寺派
臨濟宗天龍寺派
臨濟宗東福寺派
本門法華宗
法相宗
聖徳宗
華嚴宗
律宗
岩手県仏教会
栃木県仏教会

新年お慶び申し上げます



大阪府佛教会
会長代理 村山 廣甫
副会長 森 快隆
同 藪木 恵照
同 瀧藤 尊淳
監事 丹農 秀知
同 立石 泰教
事務局 二上 寛弘
事務局 同 寛弘
〒552-0021 大阪市港区築港一十三、三釋迦院内
TEL 〇六(六五七)五七一〇
FAX 〇六(六五七)五七一〇

兵庫県佛教会
会長 金井 孝顕
〒652-0801 兵庫県神戸市兵庫区中道通
TEL 〇七八(五七五)〇八四一
FAX 〇七八(五七六)六二〇三

群馬県仏教連合会
千葉県仏教会
新潟県仏教会
石川県仏教会
福井県仏教会
長野県仏教会
岐阜県仏教会
和歌山県仏教会
鳥取県仏教連合会
(一社)徳島県仏教会
香川県仏教会
高知県仏教会
福岡県仏教連合会
長崎県仏教連合会
熊本県仏教会
宮崎県仏教連合会
沖縄県仏教会
(公財)国際仏教興隆協会
東京ブディストクラブ
(公社)在家仏教協会

岡山県佛教会
会長 本山 瑞峰
副会長 新後 雅弘
同 竹井 成範
事務局 守安 秀行
〒710-0141 岡山県倉敷市串田五一
TEL 〇八六(四八五)〇三二七
FAX 〇八六(四八五)〇三二七

愛媛県仏教会
会長 仁田 喜潤
副会長 越智 瑞啓
監事 白石 圭二
監事 水崎 寛司
監事 宮本 尚文
監事 林本 尚道
書記 越智 尚道
顧問 吉川 俊一
顧問 斎藤 友宏
顧問 福村 俊弘
〒790-0814 愛媛県松山市味酒町二十七番寺内
TEL 〇八九(九四一)四四七五
FAX 〇八九(九三四)一六五四

公益社団法人
全日本仏教
婦人連盟
会長 東伏見 具子
副会長 加用 穂子
同 吉田 真理
理事長 本多 端子
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷
TEL 〇三(五七七二)〇六七七
FAX 〇三(六四三四)〇一八四
http://jbwf.jp
E-mail:info@jbwf.jp

公益社団法人
日本仏教保育協会
名誉会長 八木 季生
理事長 高山 久照
〒105-0011 東京都港区芝公園四・七・四
TEL 〇三(三四三)七四七五
FAX 〇三(三四三)一五一九

全日本仏教青年会
WFJY(世界仏教徒青年連盟日本センター)
理事長 谷 晃仁
事務局 鷲岡 嶺照
〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川(一)二五
TEL 〇九六七(三四)〇九二八
FAX 〇三(六六八五)三三八六
E-mail: info@jybare.jp
URL: http://www.jybare.jp

日本仏教鑽仰会
〒174-0041 東京都板橋区舟波四十五
TEL 〇三(三九六七)三二八八
https://bukkyo-seminar.jp
info@bukkyo-seminar.jp

一般社団法人
仏教情報センター
理事長 長谷川 岱潤
副理事長 白川 淳敬
副理事長 平井 良昌
〒113-0033 東京都文京区本郷一四六二〇二
TEL 〇三(三八一三)六五七七
FAX 〇三(三八一三)六七九四

日韓仏教交流協議会
会長 藤田 隆乗
副会長 柴田 哲彦
理事長 西郊 良光
事務総長 渡邊 真行
〒210-8521 神奈川県川崎市川崎区
TEL 〇四(二六六)三四二〇
FAX 〇四(二七七)八一六三



新年お慶び申し上げます



- 【個人会員】
- 稲盛 和夫（京セラ株式会社名誉会長）
 社本 公一（公認会計士）
 龍泉寺 佐々木 誠宗（秋田県）
 護勢寺 菅原 公宇（宮城県）
 福聚院 伊達 廣三（宮城県）
 慈願寺 池田 行信（栃木県）
 東榮寺 大森 篤史（埼玉県）
 法瑠寺 矢島 浄純（埼玉県）
 建福寺 安野 正樹（埼玉県）
 光明寺 石上 智康（千葉県）
 萬福寺 垣内 善勝（東京都）
 妙定院 小林 正道（東京都）
 浄心寺 佐藤 雅彦（東京都）
 玉林禅寺 長谷 琢堂（東京都）
 慶安寺 深澤 信善（東京都）
 真照寺 堀井 隆川（東京都）
 廣徳寺 板坂 光明（神奈川県）
 清水寺 久喜 和裕（神奈川県）
 大蔵寺 佐藤 直道（神奈川県）
 金蔵院 眞田 有快（神奈川県）
 龍泉寺 壽山 良光（神奈川県）
 圓滿寺 西郊 良光（神奈川県）
 正泉寺 野澤 隆幸（神奈川県）
 重蓮寺 関崎 幸孝（新潟県）
 玄向寺 荻須 眞教（長野県）
 本光寺 木村 光正（静岡県）
 寂光院 松平 實胤（愛知県）
 妙見閣寺 松井 英光（大阪府）

- 太福寺 佐久間 大道（兵庫県）
 善隆寺 杉浦 栄俊（兵庫県）
 吉祥院 曾我 龍慶（兵庫県）
 精明寺 疋田 哲壽（鳥取県）
 定林寺 田邊 学成（岡山県）
 龍仙寺 武田 昭英（広島県）
 誓光寺 村上 智真（山口県）
 西光寺 高橋 篤法（大分県）
 渡邊 永（宮城県）
 鈴木 朝雄（千葉県）
 小川 昌美（東京都）
 北野 譲治（東京都）
 小林 昇（東京都）
 平 みきお（東京都）
 鳥居 邦夫（東京都）
 村松 朱実（東京都）
 其田 寿一（東京都）
 天久保 貴（神奈川県）
 君和田 茂男（神奈川県）
 佐藤 泰之（神奈川県）
 中村 美津江（神奈川県）
 東田 樹治（神奈川県）
 松田 健（神奈川県）
 霧林 健（神奈川県）
 高田 都耶子（静岡県）
 山崎 忠征（和歌山県）
 安田 容造（京都府）
 山口 展弘（福岡県）
 井上 美和子（佐賀県）

- 塩月 光夫（宮崎県）
 邊見 由峰（香川県）
 赤松 広隆（衆議院議員）
 荒井 聰（衆議院議員）
 岩屋 毅（衆議院議員）
 枝野 幸男（衆議院議員）
 大串 博志（衆議院議員）
 大塚 高司（衆議院議員）
 金子 恭之（衆議院議員）
 上川 陽子（衆議院議員）
 河村 建夫（衆議院議員）
 小島 敏文（衆議院議員）
 佐藤 公治（衆議院議員）
 佐藤 ゆかり（衆議院議員）
 関 芳弘（衆議院議員）
 高市 早苗（衆議院議員）
 野田 毅（衆議院議員）
 原口 一博（衆議院議員）
 平沢 勝栄（衆議院議員）
 前原 誠司（衆議院議員）
 牧島 かれん（衆議院議員）
 松本 剛明（衆議院議員）
 松本 文明（衆議院議員）
 三原 朝彦（衆議院議員）
 大塚 耕平（衆議院議員）
 片山 さつき（衆議院議員）
 斎藤 嘉隆（参議院議員）
 武見 敬三（参議院議員）
 中川 雅治（参議院議員）

- 二之湯 智（参議院議員）
 白 貞勲（参議院議員）
 福山 哲郎（参議院議員）
 大野 元裕（埼玉県知事）
 早坂 義弘（東京都議会議員）
 浅尾 慶一郎（元衆議院議員）
 保利 耕輔（元衆議院議員）
 松本 謙公（元衆議院議員）
 岩城 光英（元参議院議員）
 佐藤 泰介（元参議院議員）
 鈴木 寛（元参議院議員）
 鈴木 政二（元参議院議員）
 谷川 秀善（元参議院議員）
 藤谷 光信（元参議院議員）

新年お慶び申し上げます



賛助会員

- 【特別会員】
 大本山東福寺 遠藤 楚石
 蓮華院誕生寺 川原 英照
 尾道仏教会 麻生 章雄
 實相山中央寺 南澤 道人
 信州善光寺 若麻績 信昭
 一般社団法人仙台仏教会 伊達 廣三
 壺阪山南法華寺 常盤 勝範
 築地本願寺
- 【団体会員】
 京セラ株式会社（電子機器製造）
 東映株式会社（映画）
 株式会社カナム（建築）
 大建工業株式会社 置材部（建築）
 松井建設株式会社（建設）
 住友林業株式会社 住宅・建築事業本部（住宅・建築事業）
 損害保険ジャパン株式会社（保険）
 大和証券株式会社 営業サポート部（ビジネスサポート）
 野村證券株式会社 金融公共公益法人部（金融）
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 本店金融公共法人第一部（金融）
 株式会社大陸旅遊（旅行）
 株式会社ビーエス観光（旅行）
 株式会社JTB 新宿第一事業部（旅行）
 KNTCTホールディングス株式会社 グループ事業推進本部 営業推進部（旅行）
 東武トップツアーズ株式会社（旅行）
 株式会社わらび座（旅館・劇団）
 日本テンフルヴァン株式会社（寺院経営コンサルタンツ）
 株式会社阪神総商（寺院サポートコンサルテイング）
 株式会社アンカレッジ（寺院運営サポート・企画）
 株式会社新宿アカウンティングオフィス（経営コンサルテイング）
 株式会社社縁（社寺仏閣総合リスクコンサルテイング）
 Sinfinitiv株式会社（神社仏閣の総合経営支援）
 株式会社東海大阪レンタル（イベント・レンタル）
 株式会社エコ・マイニング（環境・エネルギー）
 エナジー株式会社（電力・エネルギー）
 テイクイヘンデルアート（印刷）
 株式会社オメガ・コミュニケーションズ（翻訳、出版物企画・制作）
 株式会社ディー・エイ・ティコーポレーション（出版物企画・制作）
 新日本法規出版株式会社（法規図書出版）
 株式会社廣済堂（印刷・IT・Web・求人広告・人材サービス）
 キヤノンプロダクション（印刷・紙芝居）
 株式会社漫画家学会（漫画・紙芝居）
 株式会社ルンビニ（保険代理店）

- 株式会社三越伊勢丹百貨店事業本部（百貨店業）
 ワイズティーンネットワーク株式会社（卸、小売・店舗経営）
 株式会社サウンドファン（音のバリアフリー開発・製造・販売）
 株式会社大塚商会（システム機器、ソフトウェア販売）
 株式会社京念珠刑部（念珠製造・販売）
 株式会社小堀（仏壇仏具製造・販売）
 株式会社若林工芸舎（文化財保存修理）
 株式会社公益社（葬祭）
 株式会社タイセイ（総合商社）
 株式会社いせや（石材）
 株式会社AVENUE（お寺の窓口運営・WEB制作）
 グレイトインフォメーション株式会社（システム開発運営・WEB制作）
 株式会社おぎそ（高強度磁器食器の製造・販売）
 TERA Energy株式会社（小売電力）
 日本仏教看護・ビハラー学会
 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
 一般財団法人ライフプランニングセンター
 一般財団法人100万人のクラシックライブ
 一般社団法人LOS相談センター
 一般社団法人仏教検定協会
 一般社団法人PRAY for one
 一般社団法人日本地域振興新聞社
 一般社団法人良いお寺研究会
 一般社団法人Project Gamon
 全日本宗教用具協同組合
 全日本葬祭業協同組合連合会
 埼玉葬祭業協同組合
 東京都葬祭業協同組合
 神奈川県葬祭業協同組合
 岐阜県葬祭業協同組合
 名古屋葬祭業協同組合
 愛知県葬祭業協同組合
 京都中央葬祭業協同組合
 大阪葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 長崎県葬祭業協同組合
 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
 一般社団法人日本石材産業協会
 一般社団法人日本石材産業協会
 一般社団法人遺品整理士認定協会
 准秩父観音霊場三十四札所
 株式会社ミライコ
 株式会社鎌倉新書
 株式会社オフィスワイズ
 株式会社ファーストコレクション（衛生商材）

宗教法人運営のための 法律入門

宗教法人の管理運営 12



仮代表役員・仮責任役員②

仮代表役員

仮代表役員は、代表役員と法人との利害が相反する場合に、代表役員に代わって宗教法人の代表行為を行う者のことです(宗教法人法第21条1項)。

<仮代表役員と宗教法人との関係>

仮代表役員は宗教法人の機関であり、代表役員の代理人ではありません。仮代表役員と宗教法人との法律上の関係は、宗教法人の他の機関と同じく委任に類似した契約関係です。

この法律関係は仮代表役員に就任することによって発生します。仮代表役員の宗教法人に対する責任は、委任に準じるもので、代表役員と全く同じです。また、宗教法人の代表者として第三者に対する不法行為責任を負う場合もありますから注意が必要です(宗教法人法第11条)。

<職務の限定>

仮代表役員の職務は、代表役員と宗教法人との利益相反事項に限定されています(宗教法人法第21条3項)。そして、その事項についての処理が終われば任務は終了し、そこで退任することになります。つまり仮代表役員は、宗教法人の一時的・臨時的な機関ということです。

また、代表役員の代務者が選ばれている場合にも、代表役員代務者と宗教法人との利害が相反するときには仮代表役員を置く必要があります。

<利益相反事項>

①形式的利益相反事項

例えば、宗教法人所有の財産を代表役員が個人の立場で購入したり、逆に代表役員個人が所有する財産を宗教法人に対して有償で譲渡する場合があります。そのほかには、代表役員が宗教法人から金銭の貸付けを受けること、代表役員個人の借金のために宗教法人が財産を担保に提供すること、代表役員個人の事業に宗教法人の財産を無償で利用することなどがあげられます。また、法人が解散する場合、残余財産を解散当時の代表役員に帰属させることは、利益相反事項に当たります。浄土真宗系の寺院の多くはこのようになっています。

②実質的利益相反事項

例えば、宗教法人の責任が認められると代表役員個人が責任を免れたり、逆に宗教法人が責任を免れれば代表役員が責任を負ったりする場合があります。

また、代表役員個人にお金を貸した相手が代表役員個人ではお金を約束通り返してもらえそうもないと考えて、連帯保証人である宗教法人を相手取って訴訟を起こした場合、その代表役員が当該宗教法人を代表して応訴することはできません。この場合には仮代表役員を選任しなければなりません(宗教法人令第21条1項前段の場合について、昭和29・8・2 洲本簡裁判決、[下級裁判所裁判例集]5・8・1 215)。

③利益相反事項に当たらない場合

a 贈与

代表役員が自分で所有している不動産を宗教法人に贈与するような場合は、宗教法人に不利益を及ぼすおそれはありませんから利益相反行為に当たりません。

b 合併

ところで宗教法人の合併のとき、それぞれの宗教法人の代表役員が同一人である場合にその合併すること自体が利益相反事項になるかどうかという問題があります。合併行為は、利害の一致する共同行為に当たると考えられるため、利益相反事項とはならないという取り扱いになっています。

<職務権限>

仮代表役員の職務権限は、代表役員と宗教法人との利益相反事項に限られます。そしてこの事項に関する限り、法人を代表し事務を処理する権限をもちます(宗教法人法第21条3項)。

<資格・任期>

仮代表役員の資格とその選任の方法は、各法人の自主性にまかされており、規則で定められます(宗教法人法第12条1項5号)。

仮代表役員になることのできない欠格事由は、代表役員の場合と同じです(宗教法人法第22条)。

選任の方法は、特定の地位にある人を充てる場合、代表役員ではない責任役員の互選による場合、責任役員以外の機関が選ぶ場合等があります。

各宗教法人は任意にその方法を規定できますが、代表役員と関係の深い親族や縁故者等を選ぶことはその趣旨からいって避けるべきでしょう。

<退任>

仮代表役員の任務は、利益相反事項が処理されれば終了し、そこで退任することになります。

このように仮代表役員は一時的・臨時的な機関ですから、登記の必要はありません(昭和30・9・9、民事甲1924)。

作成・監修 弁護士 長谷川正浩

蓮華の心

令和3年を迎え、今年こそ良い年にしたいと誰もが願っておられるでしょう。しかし現実には、コロナ感染禍や複雑な国際情勢または人種差別など、泰平とはいいがたい多くの問題が目白押しです。

特に国内外で目立つのは「分断」という人と人との繋がりの断絶です。権利や利益を主張するあまり、他の人の立場を省みず差別や対立を招き、争い・憎しみの度合いを増していますが、果たして本来人間はこのようなことを望んでいるのでしょうか。

興味深い研究報告があります。カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学のエリザベス・ダン博士によると、「与える喜びは人間の基本的な欲求である。カナダの大学生に現金を渡し、自分のためにお金を使うグループと、自分以外のためにお金を使うグループに分けたところ、人のためにお金を使ったグループのほうが、はるかに幸福度が高くなっていました。これについては、ウガンダのような貧しい国でも同じ研究結果が出ている」とのことです。これは他者との良好な関係が幸福感を高めるといことになり、人間は一人ではなかなか幸せを感じることは出来ないといことの証明になるのではないかと思います。

日蓮聖人は、「異体同心なれば万事を成し、異体異心なれば諸事叶事なし」と、身体は異なっても心が同じで繋がってあればあらゆる事が成就すると仰っておられます。お互いすぐに理解できなくても、互いに思いやり尊重すれば、距離は近づいてゆくのではないのでしょうか。周囲の環境や情勢が調わなくても、一人一人の心が相手を思う温かくて清らかなものであることこそが大切なのでしょう。

『維摩経』には「浄土(清らかな国土)を得ようとするなら、そこにいる者の心が浄くなければならぬ」と説かれ、『法華経』には「周りの状況に染まること無く正しい道を歩む」といことは、泥の中に咲く清浄な蓮華の花のように美しい心を持ち続けることである」とも説かれています。

目の前の状況や困難はなかなか変わらないし無くならないかもしれないけれど、清く美しい蓮華のような心を持てるように自らが変われば、周りの世界が違ったものに見えて来るかもしれません。このような時代であるからこそ、互いに尊敬し合って前向きに希望を持ち、日々を過ごすことを心がける必要があるでしょう。

最後に優れた先人の言葉を添えたいと思います。

「一生の間に一人の人間でも幸福にすることが出来れば、自分の幸福なのだ」
(川端康成)

プロフィール 株橋隆真 (カブハシ リュウシン)

法華宗(本門流)
興隆学林専門学校 教授
公益財団法人全日本仏教会 社会・人権審議会委員



法話
ぶっぽうそう
12

「ぶっぽうそう(仏法僧)」では専門家や大人だけではなく、子どもでも分かりやすい言葉や内容を心がけて、日々の生活に役立ち活かしていける法話を紹介いたします。